

私が同志社女子大学を志望校と決めた理由

私は昔から食品や料理に関するものに強く興味を引かれていました。食物科学専攻では、その根本に存在しているものについて深く学ぶことができると思い、受験を決めました。

受験勉強の進め方【1学期】

高校1,2年で使っていた問題集やテキストを使って基礎的な内容の復習や英単語をしていました。基本的なイテオムも早めに覚えておくことをおすすめします。また、塾の自習室などを利用して、自分が条件反射で勉強に集中できる場所をつくりました。

評定平均のことも考えて高校の定期テストの勉強と半々くらい比率で受験勉強をしていました。

受験勉強の進め方【夏休み】

演習を重ねて、問題を解くにあたってのノウハウや、重要な語句、計算法をすぐメモするようにしていました。復習はとにかくこまめにするのが大切なので、見やすさ、分かりやすさに注意して“このノートを見れば1度知れて安心”と思えるようなまとめノートを作ることを心がけていました。また、英単語がある程度分かるようになってきたので長文読解の練習をしていました。元々英語は苦手だったのですが、細かい文法よりも長文の前後の内容のつながりや流れをつかむことを意識して読むことを繰り返して徐々に随分と改善できました。

受験勉強の進め方【2学期～入試直前】

過去問を中心に、よく問題に出てくる単元などをつかんで重点的に復習したり、新しいことを学ぶよりも今までに勉強してきたことをより強固にすることを優先していました。覚えたことが増えるにつれて復習内容も増えるので自分のできる、できないを明確に整理し把握することも心がけていました。また予備校の先生が入試について解説してくる同志社女子大学主催の入試対策講座が開かれていて、私は遠方からでもインターネットLIVE配信で参加できて良かったです。

受験期に気を付けていたことやスランプの対処法

勉強計画の立て方において、すると決めたことを遂行できなかった時に、モチベーションが下がって後引きずることがよくあったので、計画を立てる時は細かい内容は決めず、柔軟に対応できるよう大雑把な内容で立てるようにしていました。

また、私は極度のスマホ依存症だったので、急に規制することは難しかったため、はじめのうちは外の世界に思考を向ける、一人で閉じこもらないなど無理のない範囲から少しずつスマホのない生活に慣れるようにしていました。

受験生のみなさんへ

不安や焦りはかりが先行してしまうかもしれませんが、根詰めすぎず自分のペースを大切にすることも忘れずにいてほしいと思います。そして当日は自分を信じて最善を尽くせるように頑張ってください。
ここに記したことが少しでも役に立っているのは幸いです。
応援しています。

